

馬と人が創る Well-being

アドベンチャーワールドが提供する
Well-beingな
ホースアクティビティをともに



ADVENTURE WORLD



ホースコーチングが目指す世界



私たちは、SDGsが目指す **Well-being(よりよく生きる)** を
世界中の仲間たちとともに追求し
あらゆる「いのち」の多様性・持続性に満ちた循環型社会を創り
Smile(=しあわせ)が溢れる明るい豊かな社会の創造を目指します。

Smile(=しあわせ)を実感できる「とき」を、動物たちをパートナーにして創り出していく。

ホースコーチングプログラムは、そんな背景から誕生したプログラムです。



ADVENTURE WORLD

人と馬が心身ともに より良く生きる(Well-Being) ことを追求したプログラム

「ワーケーションの聖地」である和歌山・白浜の地で
馬との会話を通して、自らの生き方・働き方を探求し
多様性を養いませんか

馬は人の最も古い友人。

馬は人の豊かな生活のために、人は馬の健康な生活のために
お互いの幸せを支え合って生きてきた。

動物をパートナーにSmileを創造する私たちにとって
「Well-being」なプロジェクトを馬と一緒に創ることは
必然なことかもしれない。



ホースコーチングとは

ホースコーチングとは、馬を介在したコーチングプログラムです。
馬は、群れで生活する草食動物の中でも特に繊細かつ敏感な生き物で、
人間のわずかな感情の機微や気の変化を感じ取り同調する『ミラーリング』という特性を持ちます。

馬の持つ特性を使って、自分の感情に気づき、コントロールするチカラの獲得。

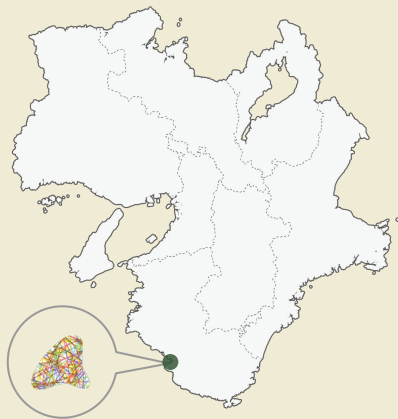
他者の気持ちを理解し自分の気持ちを伝え、動かすといった
経営者やリーダーのような ” 群れを率いる ” 役割を持つ人材に必須となるスキルを体得するプログラムです。

こんな課題はありませんか？

- ✓ 大切な人との関係性をより豊かなものにしたい
- ✓ もっと効果的にチームをリードしたい
- ✓ 仕事でやりとりが必要な人との関係性に難しさを感じている
- ✓ 家族とのコミュニケーションがうまくいかない
- ✓ 相手の気持ちを汲み取ることが難しい

アドベンチャーワールドについて

アドベンチャーワールドは和歌山県白浜町に1978年に開園したテーマパークです。
約80万m²の広大な敷地に、約140種、1400頭羽の動物が暮らしています。



年間来場者数:約120万人(2019年)

運営会社:株式会社アワーズ

<https://www.aws-s.com/>

パークテーマ

こころにスマイル 未来創造パーク

私たちは、「こころ」を大切にし、大切なパートナーである動物たちとともに、
パークを訪れるお一人おひとりが前向きになるきっかけを創り、
すべての人の人生にプラスをもたらす存在であり続けることを目指しています。



ADVENTURE WORLD

理念
Philosophy

いのちを見つめ、問い続ける。

存在意義
Purpose

いのちの美しさに気づく場所。



ホースキャンプについて

「馬とのふれあいを通じて新たな価値を創造する」

- ・昔から人のパートナーであった馬をもっと身近に感じていただき、馬が持つ高貴なイメージや敷居の高さを無くしたい。
- ・馬の身近さや本来の魅力を幅広い年齢層の方に伝えるためには、実際に馬に乗ってもらうことが一番。

パーク40周年の節目の2018年に、パークの新たな魅力を創りたい、そんな想いから発足したのが、プログラムのフィールドとなる「ホースキャンプ」です。

エリア面積:約7,700平方メートル

飼育頭数:25頭(2023年3月末現在)



リーダーが抱える課題

† メンタルモデルが強い(右図参照)

- 恐れに気付いていない

† 感情コントロールができない

- アンガーマネジメント

† セルフリーダーシップのなさ

- 自分に自信がない
- 意識が外側にしか向いていない(売上、利益)

† Vulnerability(弱さ・もろさ)を見せられない

- 恐れが強い

† 自己顕示欲が強い

- チームを信じて委ねて任せることができない

† 真のコミュニケーションがとれない

- 使う表現も行動も
- フィードバックが下手
- 北風>太陽: 結果チームが委縮する

	価値なしモデル	愛なしモデル	ひとりぼっちモデル	欠陥欠損モデル
一言でいうと	私には価値がない	私は愛されない	私は所詮ひとりぼっちだ	私には何かが決定的に欠けている
特徴	<ul style="list-style-type: none"> • 成果を通して自分の価値を認めてほしい • 何もしないことが耐えられない • やる気がない人が理解できない 	<ul style="list-style-type: none"> • 人に与えてばかりで疲れている傾向あり • 相手を不快にさせる言動は避ける • 素顔の自分では愛されないと思い込む 	<ul style="list-style-type: none"> • 所詮人は独りで生きているという孤独感 • 「好きにしたい」が口癖 • 去る者は追わず来る者は拒まず 	<ul style="list-style-type: none"> • 自分はボンコツ…漠然とした自己不振 • 自分の至らなさが気になる • 実は隠れて色々努力している
進化するには	<ul style="list-style-type: none"> • 自分で自分の価値を認める「自己承認」へと転換する • 自分の内なる声を聞いて、自分につながって行動を選ぶ 	<ul style="list-style-type: none"> • 相手に何かをする/相手に何かを求める…の取引をやめる • 自分をありのまま理解し、相手のあるがまま愛せる、常に無条件の愛を抱く 	<ul style="list-style-type: none"> • 個として独立しながらも本当は生命としてひとつの世界ですべてつながっている、と感じられるワンネスの世界へと回帰する 	<ul style="list-style-type: none"> • ありのままの自分でここにいい、と安心した状態で場にいる
目指す世界	<ul style="list-style-type: none"> • 絶対的な存在価値で、この世界におけるすべての人々の価値が認められている 	<ul style="list-style-type: none"> • 誰もが自分自身を無条件に愛し、真実からありのままを理解し合える関係性で人間同士がつながっている 	<ul style="list-style-type: none"> • 個として誰もが自立しているながら、人が命の全体性の一部を担っている…というワンネスの感覚の中で、誰もが自分の人生を生きている 	<ul style="list-style-type: none"> • 凸凹のままで人は完全で、誰もがどこでも自分のままでいいと安心できる…と思える

出典:「ザ・メンタルモデル」由左美加子、天外伺郎

出典:島田由香(YeeY inc.)

プログラムが目指すリーダーのこころの在り方

これからの世界に必要なパラダイムシフト

ホースコーチングの目的は、受けたリーダーを右側の状態にすること

理論	→	感情	ハード	→	ソフト
粹	→	わくわく	見えるもの	→	見えないもの
マネジメント	→	ファシリテーション	しんぱい	→	しんらい
考える	→	感じる	Doing	→	Being
左脳	→	右脳	すべき	→	したい

プログラムの効果

well-beingの向上によるリーダーシップの強化

† 馬との関わりを通じて自分を知る

ホースコーチングは馬とのかかわりを通じて自分を知る、「気づきの機会&体験」。
自分を知る=自覚は、自律(自分の旋律を奏でる)のための重要な最初のステップ。

真のリーダーには自律がある。

自律とは、自分の旋律を奏でること。

真のリーダーは、自らの強みを発揮して、自分なりのやり方で最高・最善を尽くし、最大の結果を出す。
そのことが周囲にポジティブな影響力をもたらす存在になる。

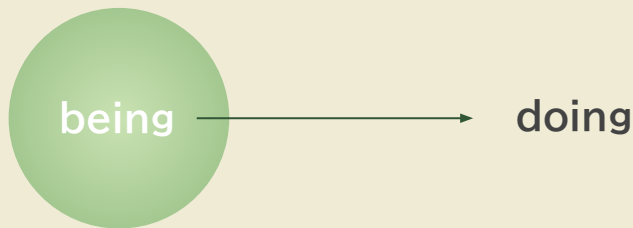


プログラムの効果

well-beingの向上によるリーダーシップの強化

† 内側にあるものが外側を決める

内側 - beingが深まり、外側 - doingが整うことで、リーダーシップが強化される。



† 他人と関係することに幸せを感じる

馬と共に過ごすことで自分(内側)に気づき、自分を信じるようになり、自分との信頼関係を築くことができる。

自分への信頼があるので馬を信じることができ、馬との信頼関係を築くことができる。

この体験が他者を信じることを可能にし、他者との信頼関係を築くことができ、関係性の喜びに気づいている自分でいられるようになる。

タイムライン

DAY1	10:00 開始	チェックイン・セットアップ	プログラムの全体体系 目的・ゴールイメージの共有	
	午前	ホースコーチングとは？	アイスブレイク 馬とのパートナーシップ Well-Beingとは	
		馬の群れから考える	馬・群れの観察と理解 自己理解と他者理解	
	昼食	ランチミーティング		
	午後	馬とのコミュニケーションで 自己を見つめる	ブラッシングや引き馬の体験を通して 自己理解を深める	
	17:00 終了	チェックアウト	振り返り・気づきのシェア	
DAY2	10:00 開始	チェックイン・アイスブレイク	DAY1振り返り	
	午前	馬との絆を深める	コミュニケーションと内省 自己理解と他者理解を深める 昨日との変化を感じ、言語化する	
	昼食	ランチミーティング		
	午後	馬とのコミュニケーションで自分を 見つめ拓く「DoingからBeingへ」	体験を通して、自己への気づきから本来 のあり方を認識・行動につなげる	
	15:00 終了	チェックアウト		

ホースコーチングスタッフ



藪内 直子(Naoko Yabuuchi)

大阪府出身。AWS動物学院卒、2011年入社。入学時は肉食動物を希望していたが、2015年に現職で馬を担当して以降その魅力に惹かれ、休日に競走馬が走る姿を見学に行くほどに。馬の魅力は、気持ち伝わりやすいところ。落ち込んでいる時は心配してくれ、楽しい時は一緒に楽しんでくれるような感があり、知れば知るほど好きになる。

プログラムでは一緒に参加する人の考えを聞く機会も多く盛り込まれており、多様な人の考え方や感じ方を聞くことによる気づきもあります。私たちを含め、同じ場を共有した人たちとも、ぜひ話をしてもらいたいです。



藤本 葉月(Hazuki Fujimoto)

兵庫県出身。大学で日本文学を専攻するも、幼少期からの動物と関わる仕事を実現するため、2014年入社。販売部門を経て、2015年より現職。馬の魅力は、とにかく奥が深いところ。表情や個性が豊かで、やりとりを感じやすく、一緒に成長しているような感覚がある。飼育動物でなくパートナーという認識。

とにかく楽しんでほしい。何をもち帰るかは馬が気付かせてくれます。一方通行の研修ではなく、自分と向き合い、たくさん考え、今の自分をより大事にできるようになることで成長できるプログラムです。



佐々木 芽衣(Mei Sasaki)

和歌山県出身。動物に関わる仕事を志し、AWS動物学院を卒業後、2013年入社。販売部門、企画部門を経て、ホースキャンプ立ち上げ時点より現職。馬の魅力は、感情が豊かで、接し方によって反応が変わるところ。見透かされているようなところがある。飼育スタッフと飼育される動物という関係でなく、同僚のような存在。

馬との体験は、浅い付き合いではなく、自分にとって大切なものに気づいてもらえる時間になると思います。改めて自分自身を知り、人との接し方や人間関係について深く考えられる時間にしていけたらと思っています。

プログラム監修



川嶋 舟(Schu Kawashima)

東京農業大学農学部准教授。獣医学博士。医療、福祉、教育などの領域で、動物を活用する動物介在療法の研究に従事し、特に馬を介在動物として用い、社会復帰のための支援をする「乗馬療法(ホースセラピー)」を専門とする。さらに担い手が不足する農業分野と介護を受ける人の就労場所が不足する福祉分野とが連携することで新たな事業をつくり出す「農福連携」によって、就労での自立が困難な人のための働く場所をつくる就労支援プログラムの開発にも尽力する。



宮田 朋典(Tomonori Miyata)

ホースクリニシャン。米国などで馬の心理学、行動学、装蹄学、ロジックトレーニングを学び、競走馬、乗用馬、競技馬、セラピーホースなどの調教や悪癖矯正を行っている。初心者からプロのドレッサージュライダー、競馬ジョッキーにいたる騎乗者を対象にしたクリニックや、ウイスパリングを軸としたナチュラルホースマンシップの講習会などを全国各地で開催している。2012年、全米のトップクリニシャンが集うRoad to the Horse Tootie Bland Family にてインターナショナル・ホースクリニシャンに認定された。また、元看護師の経験とホースクリニシャンの経験を元に、病院での馬を使った人事研修講師を約7年間務めた。現在、社台スタリオンステーション テクニカルアドバイザー兼チームビルディングカウンセリングトレーナー、カウボーイアップランチの他、サラブリティレーニンング・ジャパンリトレニング・マネージャー、ジャパンホースグラウンドワーク協会理事も務める。東京農業大学 農学部 動物介在療法学研究室 非常勤講師、帝京科学大学 医療科学部 作業療法学科 非常勤講師等、幅広く活動している。



島田 由香(Yuka Shimada)

株式会社YeeY 共同創業者/代表取締役、アステリア株式会社 CWO(Chief Well-being Officer)、一般社団法人日本ウェルビーイング推進協議会代表理事。慶應義塾大学卒業後、パソナを経て、米国コロンビア大学大学院にて組織心理学修士号取得。日本GEにて人事マネジャーを経験し、2008年ユニリーバ・ジャパン入社。2014年より取締役人事総務本部長に就任。人のモチベーションに着目し「WAA」など独自の人事施策を多数実行、2017年に株式会社YeeYを共同創業し代表取締役に就任。企業の経営支援や人事コンサルティング、組織文化の構築支援などを通じて、日本企業のウェルビーイング経営実現に取り組んでいる。

プログラム監修



鳥谷部 大樹(Daiki Toriyabe)

- ・Well-Being & Coaching Nangoku, Inc. 代表社員
- ・株式会社ウィルグループ(東証プライム) 人材開発部 マネージャー
- ・米国CTI認定プロフェッショナルコーチ(CPCC)

主にウィルグループにてウェルビーイングを研究し、6000人ほどの社員のウェルビーイングを推進。また、移住先の沖縄の離島 久米島で起業し、ウェルビーイングに関するサービスを提供。特にウェルビーイングの中核とも言われる「人間関係」や「コミュニケーション」にフォーカスし、経営幹部向けにコーチングやダイアログのレクチャー、ファシリテーションを行っている。



與那覇 晋作(Shinasaku Yonaha)

GIVENESS&Co.株式会社 取締役。PONY事業開発責任者

株式会社LITALICOでの新規事業立ち上げ、人材系ベンチャー拠点責任者など人材・福祉領域での事業開発を実行。

現在は、沖縄金武町にてホースセラピーを用いた児童向け福祉事業の開発と運営やホースセラピー事業開発のディレクションを担当している。

アクセス

電車でのアクセス



京都(JR京都駅)より
大阪(JR新大阪)より
名古屋(JR名古屋駅)より

紀勢本線特急:約2時間50分
紀勢本線特急:約2時間30分
新幹線+紀勢特急:約3時間50分

飛行機でのアクセス

東京(羽田空港)より 航空便(JAL):約70分

※最寄りの公共交通機関からは路線バス/タクシーをご利用ください。

モデル時刻表

<往路>

東京方面より
16:35-17:45 羽田空港-南紀白浜空港(JL219)
7:40- 9:00 羽田空港-南紀白浜空港(JL213)
空港-アドベンチャーワールド(車5分)

大阪方面より
20:13-22:54 JR新大阪駅-白浜駅(くろしお29号)
駅-アドベンチャーワールド(車10分)

<復路>

東京方面
18:30-19:40 南紀白浜空港-羽田空港(JL218)

大阪方面
16:13-18:47 JR白浜駅-新大阪駅(くろしお19号)
17:13-19:54 JR白浜駅-新大阪駅(くろしお21号)

※自家用車またはタクシーでのアクセス※

権現谷(ごんげんだに)の通用門よりご入場ください。

- ・一般入場者入口と反対側になります
- ・タクシーご乗車時に運転手の方にお申し出ください

価格表

ホースコーチングプログラム

定員:各回5名(最少催行人数2名)

実施場所:アドベンチャーワールド 〒649-2201 和歌山県西牟婁郡白浜町堅田2399番地

プログラム参加費

開催時期

¥160,000 (税別) / 人
(キャンペーン価格)

①2023年5月10日(水)、11日(木)【受付終了】
②2023年6月7日(水)、8日(木) 【受付中】
③2023年7月5日(水)、6日(木) 【受付中】
※1泊2日のプログラムです

- ・プログラム参加費に含まれるもの:1日目、2日目の昼食代、保険代
- ・プログラム参加費に含まれないもの:最寄りの公共交通機関・宿泊先からアドベンチャーワールドまでの交通費

キャンセル料 当日 :料金の100%、前日 :料金の50%、2日前から:料金の30%、3日前から:料金の30%
※悪天候の場合、実施を中止、中断することがあります。キャンセル規定詳細はお申込み前に資料をお送りします。

お問い合わせ TEL:0570-06-4481(代表) Mail:aws-planet@aws-s.com
お申し込み <https://forms.gle/otZRP2jLEUCs8tTM9> 申込締切は事前研修当日の7日前までとなります。